

【参考1】ICT活用工事及び簡易型ICT活用工事

	施工プロセス	工事成績
ICT活用工事 (舗装工)	ICT施工プロセスの全て(①~⑤)を活用する場合 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">① 3次元 起工測量 <b>【見積り】</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">② 3次元 設計データ <b>【見積り】</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">③ ICT建機 による施工 <b>【ICT積算】</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">④※1 3次元 出来形管理 <b>※2</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">⑤ 3次元 データ納品 <b>※2</b></div> </div>	創意工夫【施工】で加点(2項目) <input checked="" type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫
簡易型ICT活用工事 (舗装工)	【ケース1】②③④⑤を活用する場合 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">① 従来測量 (従来率)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">② 3次元 設計データ <b>【見積り】</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">③ ICT建機 による施工 <b>【ICT積算】</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">④※1 3次元 出来形管理 <b>※2</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">⑤ 3次元 データ納品 <b>※2</b></div> </div>	創意工夫【施工】で加点(1項目) <input checked="" type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫
	【ケース2】①②④⑤を活用する場合 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">① 3次元 起工測量 <b>【見積り】</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">② 3次元 設計データ <b>【見積り】</b></div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">③ 従来施工 (従来積算)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">④※1 3次元 出来形管理 <b>※2</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">⑤ 3次元 データ納品 <b>※2</b></div> </div>	
	【ケース3】②④⑤を活用する場合 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">① 従来測量 (従来率)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">② 3次元 設計データ <b>【見積り】</b></div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">③ 従来施工 (従来積算)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">④※1 3次元 出来形管理 <b>※2</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">⑤ 3次元 データ納品 <b>※2</b></div> </div>	

※1 受注者は、ICT舗装工の出来形管理については、面管理で行うことを原則とする。ただし、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合は、監督員との協議の上、面管理から従来手法(出来形管理基準上で当該基準に基づく管理項目)による出来形管理を行ってもよい。

なお、面管理から従来手法(出来形管理基準上で当該基準に基づく管理項目)による出来形管理に変更した場合は、**工事成績評定においてばらつきの判断は行わない**こととする。

※2 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が共通仮設費率、現場管理費率に補正係数を乗じて算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。

## 【参考2】ICT活用工事及び簡易型ICT活用工事を除く生産性向上に資するICT活用工事

次の技術等を活用した場合、生産性向上に資する工事とする。

例) 自動追尾トータルステーション、パワーアシストスーツ、情報共有システム(ASP)、遠隔臨場、AI技術、VR技術、3次元起工測量、  
2次元MC又はMG 等

⇒創意工夫【その他】で加点

【生産性向上】ICT活用工事及び簡易型ICT活用工事を除く生産性向上に資する取組みが図られている。

## 【参考3】創意工夫で加点するための履行確認書類(例)

技術名等	創意工夫等 別添様式1, 2の作成	備考
ICT活用工事、簡易型ICT活用工事	不要	ICT活用工事計画書、出来形管理書類等でICTを活用したことが確認できる。
自動追尾トータルステーション	必要	
パワーアシストスーツ	必要	
情報共有システム(ASP)	不要	工事打合せ簿等にてASPを活用していることが確認できる。
遠隔臨場	不要	段階確認記録表等にて遠隔臨場を実施していることが確認できる。
AI技術	必要	
VR技術	必要	
3次元起工測量	必要	
2次元MC又はMG	必要	